

令和3事業年度

決算報告書

自：令和 3年4月 1日

至：令和 4年3月31日

国立大学法人総合研究大学院大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,723	1,756	33	(注1)
施設整備費補助金	-	-	-	
補助金等収入	21	56	35	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	9	9	-	
自己収入	227	216	△10	
授業料、入学金及び検定料収入	224	214	△9	(注3)
雑収入	3	2	△1	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	62	54	△8	(注5)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	76	112	35	(注6)
出資金	-	-	-	
計	2,118	2,203	85	
支出				
業務費	2,026	1,929	△97	
教育研究経費	2,026	1,929	△97	(注7)
施設整備費	9	9	-	
補助金等	21	54	34	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	62	52	△10	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	-	-	-	
計	2,118	2,044	△74	
収入－支出	-	159	159	

(注) 決算報告書の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階で見込んでいなかった令和2年度特殊要因運営費交付金(退職手当分)の繰越(27百万円)、令和2年度補正予算(第1号及び第2号)における授業料免除実施経費の繰越(4百万円)、令和3年度特殊要因運営費交付金(退職手当分)の追加配分(2百万円)により、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階で見込んでいたより令和3年度水産関係民間団体事業補助金が△0百万円少額であった一方、予算段階で見込んでいなかった令和3年度科学技術人材育成費補助金(18百万円)、令和3年度次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金(18百万円)により、決算金額が35百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入の差異については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う授業料徴収等の特別措置による授業料収入の減少(△4百万円)、入学者数が予算段階の予定数を下回ったことによる入学金収入の減少(△5百万円)、出願者数が予算段階の予定数を下回ったことによる検定料収入の減少(△1百万円)により、予算金額に比して決算金額が△9百万円少額となっております。
- (注4) 雑収入については、予算段階の見込額を下回ったことにより、予算金額に比して決算金額が△1百万円少額となっております。
- (注5) 予算段階で見込んでいたより寄附金収入が△4百万円少額、受託研究等収入が△2百万円少額、科学研究費補助金間接経費収入が△2百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が△8百万円少額となっております。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算金額に比して決算金額が35百万円多額となっております。
- (注7) 業務費については、経費の節減・効率化等に努めた結果の他、新型コロナウイルス感染症の影響による教育研究事業のオンライン化等により、予算金額に比して決算金額が△97百万円少額となっております。
- (注8) 予算段階で見込んでいたより令和3年度水産関係民間団体事業補助金の執行が△0百万円少額であった一方、予算段階で見込んでいなかった令和3年度科学技術人材育成費補助金の執行(18百万円)、令和3年度次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金の執行(16百万円)により、決算金額が34百万円多額となっております。
- (注9) (注5)の予算段階の見込より科学研究費補助金間接経費が3百万円増加した一方、寄附金による支出が△6百万円少額、受託研究費等による支出が△7百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が△10百万円少額となっております。